

## 核データ評価WG実験法評価サブWG会合議事録

日 時 昭和 57 年 8 月 24 日 9:30 ~ 12:00

場 所 原研東海研究所 研究 2 棟 222 号室

出席者 神田 (九大), 西村, 浅見, 中島 (原研), 村田 (NAIG)

配布資料 1. 前回議事録  
2. Fission Ratio の評価法

### 議 事

1. 前回議事録確認

2. 一般報告

特に報告すべきことはなかったが、当サブWGの名称が専門部会などの議事録などでは「測定法評価」となっているが、より広い意味をもたせるため「実験法評価」とすべきことが、討議され、今後この名称を使用することとした。

3. (n, 2n) 等反応断面積実験法(2)

浅見委員より、前回に引きつづき、大形液体シンチレータを使用した(n, 2n)断面積などの実験法、特に、照射バースト間に測定される計数分布より中性子の multiplicity を求めるデータ処理法の説明があった。また、 $\gamma$ 線スペクトル測定により (n, 2n) 断面積を求める方法につき説明があり、その可能性について討議した。

4. Fission Ratio 評価法

資料 2. に従って村田委員が Poenitz 等の行った  $\sigma_f^{28}/\sigma_f^{25}$ ,  $\sigma_f^{49}/\sigma_f^{25}$  の評価法につき説明を行った。

5. 次回 10 月 28 日 (木) 13:30 ~ 17:00

弾性・非弾性散乱実験法, 荷電粒子放出反応実験法などの検討。